

市内5か所の認定こども園に子育て支援センターがあります。子育て支援センターは、地域全体で子育てを支援する基盤づくりのため、次のような活動を行っています。
準備の都合上、利用される方は前日まで各園へご連絡ください。また、持ち物なども各園にご確認ください。

集いの広場 (〇〇ルーム・〇〇広場) の開設

- 子育て中の親子同士が気軽に交流できる場として広場を開いています。
- お子さんの発達や子育てに関する不安や悩みに関して相談を受け付けています。
- 育児不安などについての相談指導
- 子育てサークルやボランティアの皆さんに活動の場を提供したり、活動の支援をしたりします。

おひさまルーム (角館こども園内)
☎ 53-2918 FAX53-2919 時間 9:30~11:30
5日(月) ☆お楽しみ会☆～今年度最後の開催となります～

なかよしひろば (にこにここども園内)
☎ 47-2525 FAX47-2323 時間 9:30~11:30
6日(火) ☆お楽しみ会☆
身体測定 (大きくなったことをお祝いしよう)

わいわい広場 (神代こども園内)
☎ 44-2502 FAX44-2931 時間 9:30~11:30
7日(水) 身体測定・こども園で遊ぼう
14日(金) 気に入った遊びを見つけて遊ぼう
21日(金) 4月の新しい生活に向かって楽しんじゃおうの会♪



「さくらッコ」は子育て支援拠点事業として、子育て親子の交流の場の提供、子育てなどに関する相談・援助、子育て関連情報の提供、子育てに関する講習などを実施しています。子育てアドバイザーが常駐し、明るくゆとりとした環境を準備してお待ちしていますので、どうぞお気軽におこしください！さくらッコのイベントはすべて無料です。

すくすく成長記録 Day (予約不要)
13日(木) 10:00～11:00 月イチ、身長体重測定日！

わくわく広場 (予約10組)
21日(金) 10:30～11:30 「読み聞かせ」

あつまれ！0歳児！ (予約10組)
28日(金) 「お昼寝フォト」 10:00～12:00
0歳児以上のお子さまも参加可能です！

子育てサポート 「はっぴい・ママ」
角館町田町上丁 69-1 (角館児童館 2F) ☎080-1663-4494

母子手帳アプリ「なないろ」では、随時情報を更新しています。ダウンロードはこちらから！

母子健康手帳交付 (前日まで電話予約が必要です)

日にち	受付時間	内容
11日(火)・25日(火)	9:30～	・個別面談(保健師、管理栄養士) ・母子手帳交付 ・妊婦健診受診券発行 ・サポートプラン作成
3日(月)・19日(水)	13:15～	----- 母子手帳交付申請に必要なもの -----

①妊娠届出書 ②個人番号カードまたは個人番号通知カード ③本人確認できるもの(運転免許証、パスポートなど) ④出産応援ギフト申請のため妊婦本人名義の口座情報が確認できるもののコピーなど

おやこで楽しむふれあい講座 (前日まで申し込みが必要です)

日にち	内容	対象者	時間
12日(水)	ベビーマッサージ・交流会	2か月後半～1歳未満	9:15～

電話相談

時間	電話番号
平日 8:30～16:30	《固定》43-2252 《携帯》080-2813-0835

※保健師・管理栄養士・看護師が対応します。

こどもカレンダー 3月
◆場所 健康管理センター(角館)

おやこ交流広場

開放日	時間	内容
3日(月)・10日(月)・17日(月)・24日(月)	9:30～11:30	保護者とお子さんが自由に遊べるスペース。申込不要で自由参加。

※3/17日は身体計測日です。希望のお子さんは母子手帳をご持参ください。

助産師さんの相談日

日にち	時間	内容
17日(月)	10:00～11:30	助産師さんによる妊娠中・出産・産後・育児の相談ができます。個別相談ができますので、希望者はご連絡ください。

◆問合せ 仙北市保健課 ☎43-2252

またたうら

心豊かな教育文化のまち 《仙北市教育委員会たより》

第26回 子どもサミット Semboku City ジュニア未来会議

年が改まり、第26回「子どもサミット」Semboku City ジュニア未来会議が仙北市立学校11校の代表26人の参加を得て開催されました。これまでは、小中学生が元気に活躍する姿を示す、また、仙北市が元気になるための具体案を市に提案するなどの活動をしてきました。昨年度は「仙北市わくわくスタンプラリー」また来たくなる「仙北市」の提言書をもって、市長、仙北市議会、観光文化スポーツ部、農林商工部、仙北市商工会、田沢湖・角館観光協会などに提案したところ、実施についての前向きな回答があり、児童生徒の自信と意欲につながりました。今回は、子どもの明るく元気な



白岩小学校児童の発表。白岩小学校の参加は今回で最後です。閉会后、これまでの貢献に対して参加者全員から盛大な拍手が送られました。

姿が明るい仙北市につながるということから、自分たちの生活を見直し、毎日の生活をより良いものにすることを考えました。課題であるSNSの利用の仕方について、各校の実態や問題点を出し合うことから始め、事前に集めた各校のアンケート結果から「小学生で半分、中学生で約3割が、学校にSNSルールがあるかどうかかわかっていない」「家の人は「ルール」とは全くない」は0%だが、「家庭でルールは決めていない」と答えた小学生が約3割、中学生が約4割いる」とことなどを見つけ、驚いたり考え込んだりしていました。その後、「生活リズムの乱れを防ぐルール」と「学校でのいじめやトラブルにつながるようなようにするためのルール」について協議し、基本となる取組内容をまとめました。この会議で決まった内容を基に、各校の児童会や生徒会を中心に具体的なルールを作り、全児童生徒で取り組みます。SNSに関する多様な問題を捉え、より良い利用の仕方について子どもたちが主体的に考える有意義な時間となりました。

仙北市は台湾と多様な分野での交流を長年続けてきました。学校間では、互いに生徒が往来するなどの交流が続いてきましたが、近年は新型コロナウイルスの影響によりオンラインによる交流になっていました。角館中学校の生徒5人が、昨年12月22日から26日まで台中市立惠文高級中学を訪問し、対面での交流活動が復活しました。

その報告会が1月31日に角館中学校で行われました。最初に木村光紀校長が「今は多くの国から人が訪れてくる。インターネットもある。インターナショナルスクールの開設もある。多様な交流が増えてくる。そこでの多様な視点をグローバルな考え方に結び付けてもらいたい。それが角館中学校の教育目標『多様性の尊重』につながっていく。今回の交流に参加した生徒は強いつながりができたので、そのつながりを、より広げてほしい」と全校生徒に話しました。訪問生徒による報告では、まず、○日本と台湾の文化の違い○日常生活習慣の違い○給食メニューの違いなどに驚いたことが話されました。続いて、交流会で○角館と角中を紹介したこと○惠文高級中学からテコンドーの実演があったこと○角中からは英語と北京語で挨拶し、説明は英語でしたこと○飾山囃子を実演したことなどが動画をういて報告されました。さらに、惠文高級中学の授業では、○お互いのふるさとの湖を紹介する場面があり角中は田沢湖の紹介を英語で行ったこと○一人一人別々のホームステイ先で英語を使って意思疎通を図りホストファミリーとの交流を深めることができましたことを伝え、特にホストファミリーの気遣いや優しさに感銘を受けたことを詳しく



惠文高級中学での授業交流。会話は英語を用いて行われました。